

第4章 公害苦情

1 概 要

平成26年度の公害苦情受付件数は225件で、前年度から減少しています。種類別では、騒音に関する苦情が97件と最も多く、次いで水質汚濁、悪臭、大気汚染、振動の順となっています。(図4-1-1、図4-1-2)

なお、騒音、振動、大気汚染、悪臭関係の苦情は環境政策課で、水質汚濁や土壌汚染に関する苦情は水保全課で対応しています。

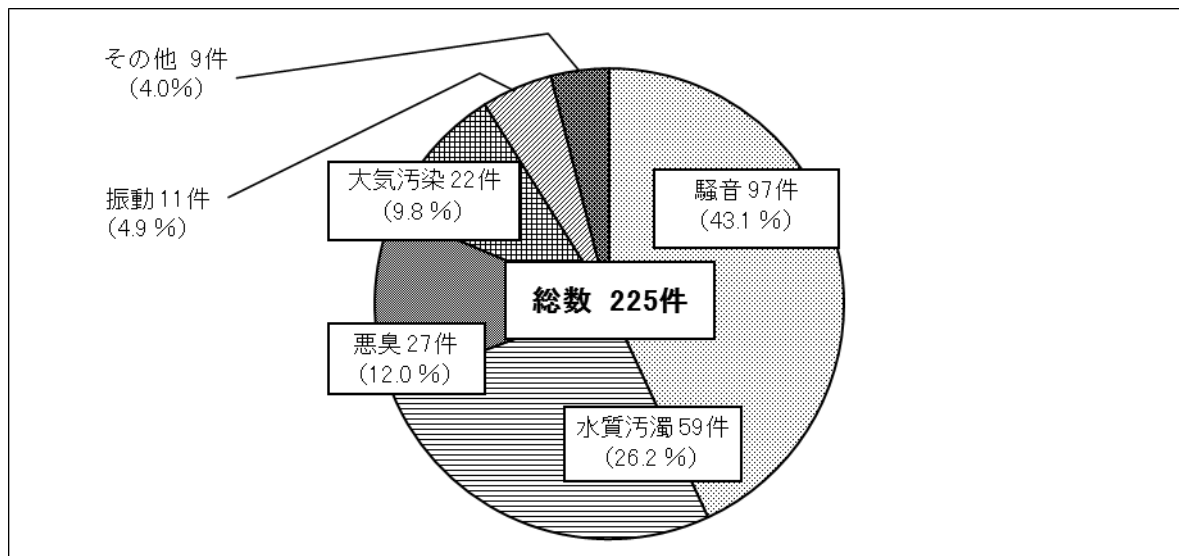


図 4-1-1 公害苦情の内訳

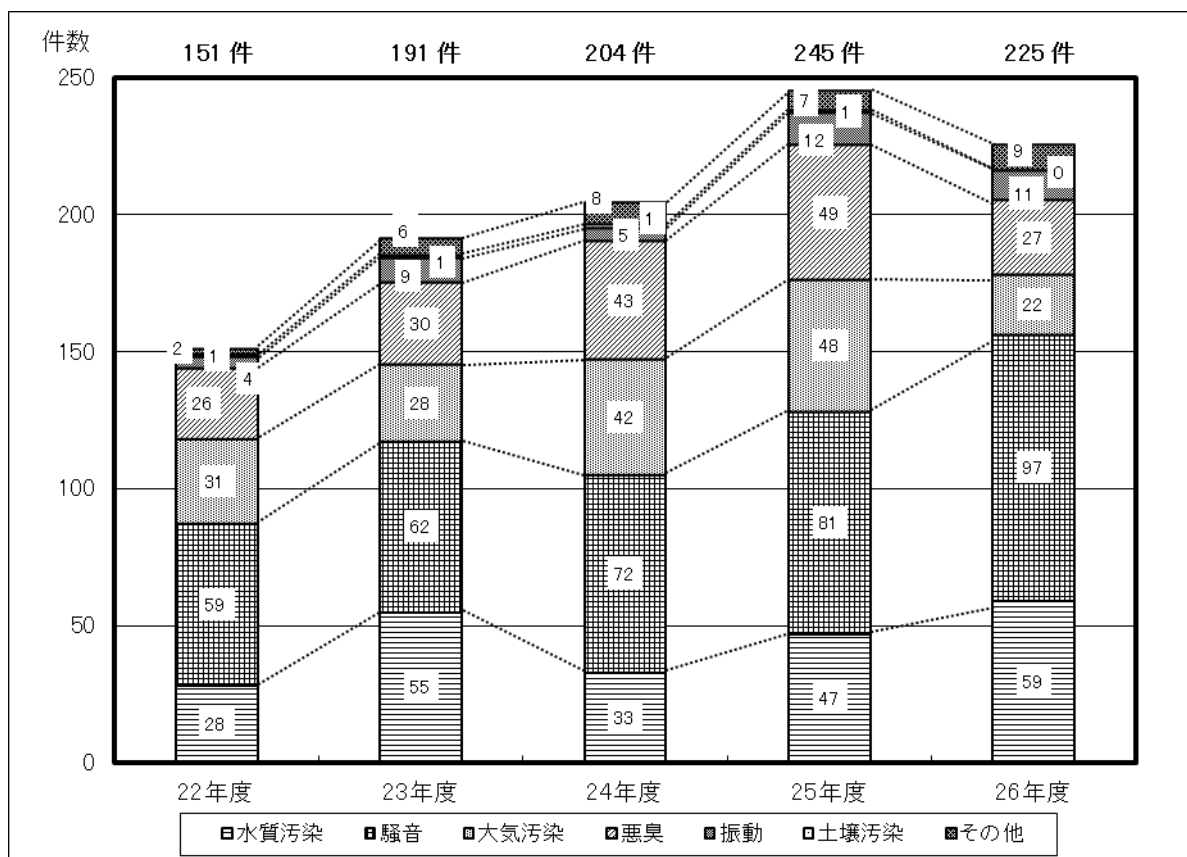


図 4-1-2 公害苦情件数の推移

(1)大気汚染

大気汚染に関する苦情は 22 件で、苦情全体に占める割合の約 9.8 %でした。

発生源の主な原因は、事業所からの排ガス・粉じんによるものが 10 件と最も多く、次いで建設・解体作業に伴う粉じんによるものが 7 件でした。また、廃棄物の野外焼却については、ごみ減量推進課・各区役所のまちづくり推進課でも対応しています。

(2)騒音

騒音に関する苦情は 97 件で、苦情全体に占める割合は約 43.1%でした。

発生源の主な原因は、建設作業に伴う騒音が 40 件と最も多く、次いで工場、サービス業等の事業活動に伴う機械・設備の音や作業音が 28 件、自動車走行などの移動発生源からの騒音が 3 件となっています。

(3)振動

振動に関する苦情は 11 件で、苦情全体に占める割合は約 4.9%でした。

発生源の主な原因は、建設作業に伴う振動が 5 件、工場、サービス業等の事業活動に伴う機械・設備の振動や作業に伴う振動が 2 件となっています。

(4)悪臭

悪臭に関する苦情は 27 件で、苦情全体に占める割合の約 12.0 %でした。

発生源の主な原因は、製造業、飲食店等の事業活動に伴う臭いが 9 件、畜産・農作業などの農業に伴う臭いが 5 件、となっています。

2 発生源の業種

公害苦情の発生源となった業種は多い方から建設業、サービス業、製造業、家庭生活、農業の順になっています。

また、内訳の中で、不明が約 17.3%と大きな割合を占めていますが、これは水質汚濁や騒音、悪臭の発生源が特定できないケースが多いためです。(表 4-1-1)

表 4-1-1 公害苦情の発生源業種

業種	公害の種類							合計	
	水質汚濁	大気汚染	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	その他	件数	構成比(%)
農業	7	2	0	0	5	0	0	14	6.2
林業	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
漁業・鉱業	1	0	0	0	0	0	0	1	0.4
建設業	0	10	44	5	0	0	0	59	26.2
製造業	9	4	10	1	5	0	1	30	13.3
電気、ガス、熱供給・水道業	1	0	0	0	0	0	0	1	0.4
運輸・通信業	2	0	0	1	0	0	0	3	1.3
不動産業	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
卸売り・小売業・飲食店	3	0	5	0	0	0	0	8	3.6
サービス業	5	6	13	1	5	0	1	31	13.8
医療・福祉	1	0	1	0	0	0	0	2	0.9
学習支援・公務	3	0	5	0	0	0	2	10	4.4
家庭生活	0	0	11	0	6	0	0	17	7.6
その他	10	0	0	0	0	0	0	10	4.4
不明	17	0	8	3	6	0	5	39	17.3
計	59	22	97	11	27	0	9	225	100.0